



2024.10 発行

夏休みインターンシップは、9校の看護師等学校養成所から29名の参加があり、18ステーションで実施しました。14施設、19人から報告書が届きました。参加校、実施施設の詳細はホームページをご覧ください。

今年は、学生の希望が新卒看護師の就職が可能なステーションに集中し、一人で3施設経験したり、泊まり込みで2日間行ったりとインターンシップが就職先を検討する手段になってきたと感じています。参加者の中から訪問看護師が誕生するといいですね。

1 インターンシップはどこで知りましたか



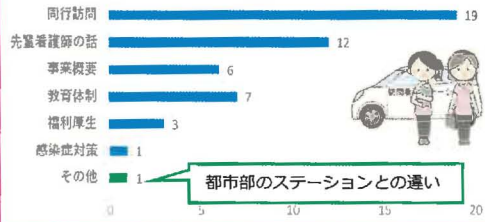
先輩・クラスメートからの紹介

2 参加の動機



友人の誘い

3 インターンシップのどんなところに興味がありましたか



都市部のステーションとの違い

4 インターンシップは満足しましたか



5 訪問看護ステーションへの就職について



訪問看護ステーション管理者さんに聞きました!!

にしはら こうへい
西原 康平さん

訪問看護ステーション Aioi (三原市皆実 1-13-17)
従業員: 看護師5名、療法士3名 (PT・OT・ST)



「よく動き、よく学び、よく食べて、よく休む。人生を面白おかしく、張り切って過ごせ」をモットーに、「家に帰りたい!」と思う方をサポートするために、若いスタッフがフットワーク軽く地域を走り回っています。



Q:訪問看護ステーションを立ち上げようと思ったきっかけについてお聞かせください。

大学卒業後、広島市内の病院で外科や高度救命救急センターに勤務、結婚を機に地元三原に帰り、尾道市の病院の救急救命センターに勤務しました。病院を受診される方と話す中で、「病気を抱えていたり、介護が必要な方々が安心して暮らせる地域を作りたい」、「自宅にいても看護師を身近に感じてほしい、一人一人の思いに耳を傾け寄り添いたい」と思うようになりました。地元で、親近感を持ってもらえる近所のお兄ちゃん的存在の看護師でありたいと、2022年4月、「家と医療と看護をつなぐ」という想いで、訪問看護ステーションを設立しました。三原市の在宅医療の発展に貢献し、三原の地域モデル事業を考えていきたいと思っています。

Q:訪問看護のやりがいとはどんなことですか。

自宅に向うことで、その人がどのような生活を送っているのか、何を大切にしながら暮らしているのかを感じることができます。そこから、自分自身が学んできた看護を展開していき、個々に対するアプローチを考えることができます。利用してくださる方の「ありがとう」「安心するね」という言葉がとても励みになります。看護師としての意識を考えさせられるフィールドであり、専門職という立場から発信していく言葉の重みや看護技術の大切さを学ぶことができ、自身の成長に繋がります。

Q:病院看護と訪問看護の大きく違うところはどんなところですか。

自宅での療養生活をサポートしていく環境が大きく違うところだと思っています。ケアや処置を提供していく上で、利用者さんの「家での暮らし」ということを考えながら実践しています。



Q:新卒でも訪問看護師になれますか。Aioiの教育体制を教えてください。

「訪問看護」というフィールドで働くこと、病院での働き方との違いに不安を感じる方がたくさんあります。教育体制としては、いきなり一人で訪問ということではなく、二人で訪問しながら、どのようなケアを実施しているのかを体験し、各家庭を数回訪問します。そこから少しずつ訪問に慣れていき、一人で訪問できるようスタッフ全員でサポートしています。1人で訪問することに不安はつきものなので、管理者やリーダー看護師とネット環境や電話でのやり取りができるようクラウドシステムを導入し、情報共有を行う環境も整えながら、働きやすい環境にも注力しています。新卒でも看護師として、人として成長していけるよう、学びの環境を整備しています。興味のある方はぜひ気軽にお問い合わせください。

Q:訪問看護を目指す学生さんにアドバイスをお願いします!

学生という限られた時間を思いっきり楽しんでください。そして、いろんな人に出会い、いろんな職業を感じ、様々な「ヒト」「モノ」「コト」に触れて欲しいです。病院で働く看護師も大切な役割ですが、地域で働く看護師にも興味を持って欲しいです。地域で暮らす人々と交流する機会がとて増えます。



次回のインターンシップは令和7年3月です。たくさんの方の参加をお待ちしています!



管理者の感想・意見

- ◎学生さんに日頃の実践を見ていただき、私たちも程よい緊張と喜びがありました。地域で働きたいけど実際はどうなのかを体験することで、将来の姿をイメージすることができたのではないかと思います。事業所としても充実した1日でした。
- ◎学生時代から訪問看護や地域看護に関心を持つことができるのはとてもいいことだと思います。学生さんが来られることで利用者さんにもよい刺激になっていました。
- ◎病院の実習は早くから始まりますが、訪問看護の実習は3年生からで、しかも実習期間が短いので、インターンシップでイメージがわき、就職先の選択肢の一つにつながればと期待しています。
- ◎就職する前に在宅看護の魅力伝える機会をつくっていただき、ありがたく感じています。
- ◎新卒から訪問看護師として働きたい学生が増えている中、ステーション側としても新卒看護師を受け入れることができるようにマニュアル作成をしていきたいと考えきっかけになってよかったと思います。
- ◎学生さんが来られると利用者さんが笑顔になっていたの、訪問していただきありがたかったです。
- ◎学生から、「学校の先生が、これからの看護は病院ではなく在宅が主になっていくと言っている」と聞いた。学生の思いも学生に強く影響すると思いました。

学生の感想

- ◎先輩看護師に同行し、話を聞き、訪問看護の仕事内容・役割について学ぶことができました。
- ◎利用者さんの地域での生活を知ることができました。
- ◎ステーションの雰囲気温かく、皆さんに優しくしていただきました。利用者が何を必要とし、自分に何ができるのか、その人にとっての存在意義を常に考えながら行動することが大切だと教えていただきました。有意義なインターンシップでした。
- ◎病院とは異なる環境での看護について知ることができてよかったです。訪問看護は、家族への支援が大切で、家族の思いが引き出せるような声掛けの工夫が必要と学びました。
- ◎訪問看護は、実習でしか経験したことがなく、就職してすぐ実践できるのか不安だったので、実際に体験できてよかったです。
- ◎訪問看護の実際を見させていただき、より一層興味が湧きました。
- ◎将来訪問看護で働きたいと考えているので、とても参考にまりました。授業で見たビデオとは違う面や新たに知ったことも多く参加してよかったです。